



特集1

# 農業という選択の『可農性』

● 問合先 農業振興課農政企画係 (☎☎2557)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、働き方が見直され、テレワークが導入されるなど、自宅に居ながら仕事ができる環境になっていきます。これにより、通勤などを考える必要がなくなり、職業選択の『可能性』が広がってきています。

ところで、皆さんは『農業』という仕事にどのようなイメージを持っていますか。

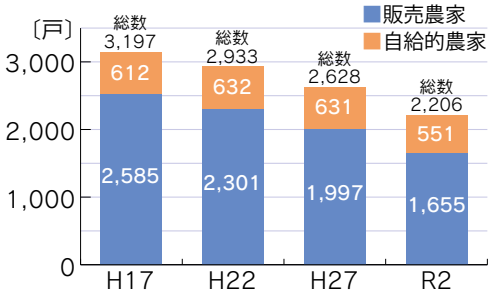
今回の特集では、さまざまな職業の中でも、『農業』に着目し、紹介します。

市内の農業の現状や、農業就農者が農業を始めたきっかけ、農業に対する思いなどを知り、今一度、大切な産業である『農業』について考えてみませんか。

# 市内の農業の状況

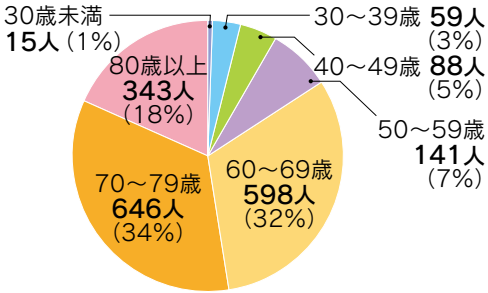
【グラフ1】

農家数の推移（平成17年～令和2年）



【グラフ2】

年代別の基幹的農業従事者数※（令和2年）



【表】新規就農者の推移（法人就農者含む）  
（基準：前年6月1日～5月31日）

単位：人

	H30	R元	R2	R3	合計
	16	12	19	13	60

●令和3年の新規就農者13人の内訳  
施設野菜8人、米麦大豆1人、果樹2人、肉用牛1人、プロイラー1人

市内の農家数は年々減り続け、平成17年に3197戸だったものが、令和2年には2206戸と、15年間で約3

## ■農業者の減少と高齢化

の形で高く評価されています。『伊万里牛』や『佐賀牛』の名で高く評価されています。

のほかに、きゅうりやたまねぎ、アスパラガス、いちご、小ネギなどの生産が盛んです。畜産では肉用牛が盛んで、市場では『伊万里牛』や『佐賀牛』の名で高く評価されています。

鳥獣の生息域と人間の生活区域を分ける役割が果たされなかつたりと、農業者減少の問題は、全ての人の生活に深く関わる問題と言えるのです。

大雨による土砂災害を防ぐ機能が損なわれたり、農地が管理されなくなることで、有害鳥獣の生息域と人間の生活区域を分ける役割が果たされなかつたりと、農業者減少の問題は、全ての人の生活に深く関わる問題と言えるのです。

ラフ2』。農業の役割は、食料を生産するだけではありません。農業者の減少と高齢化が進むと、農地の用排水が果たす、大雨による土砂災害を防ぐ機能が損なわれたり、農地が管理されなくなることで、有害鳥獣の生息域と人間の生活区域を分ける役割が果たされなかつたりと、農業者減少の問題は、全ての人の生活に深く関わる問題と言えるのです。

# 新規就農者

市内の平成30年から令和3年までの新規就農者数は、60人です【表】。家業を継いだり、それまで農業とは無縁だったけれど、農業者から刺激を受けて就農を決意したりと、就農に至った理由はさまざまです。

## ■農業を選んだ人たち

農業者が減り続ける中、就農を決意した彼らは、なぜ農業を選び、農業についてどのように感じているのでしょうか。市内のいちご農家の原岳洋さん・まゆみさん夫婦、果樹農家の山口将樹さん、プロイラー農家の高森啓太さんの3組にインタビューを行いました。

## 園芸農家（いちご）

### 原岳洋・まゆみさん（大川町）

朝早くから夜遅くまで働きたい仕事、というイメージを持っていましたが、自分のペースで取り組むことができ、思っていた以上に楽しいです。一作一作が新しいスタートになるため、大変な部分もありますが、人に食べてもらったときの「おいしい」のひと言で「やってきて良かった。もっとおいしいものを」と思えます。

す。収穫したいいちごの約1割ほどの傷や色つやなどで市場に出せないものが出てしまうため、町内の農業仲間と加工品などにも挑戦を始めました。いちごは『稼げる』作物になっていると思うので、興味がある人は、実際に見て、話をたくさん聞いてほしいです。私にとつて、80歳になっても続けていきたいと思える仕事です。



#### profile

岳洋さんは、就農前は市内で会社員として勤務。いちごの栽培に興味はあったが、始められなかった。結婚を機に、まゆみさんの協力もあり就農。45歳。

※基幹的農業従事者とは、自営農業に主として従事した世帯員のうち、ふだん主に農業に従事している人のことです。



profile

就農前は北九州市で会社員として勤務。結婚を機に伊万里へ帰ってきたところ、梨農家である父から声をかけてもらったのをきっかけに就農。父と祖父母で経営。27歳。

果樹農家（梨）

山口将樹さん（南波多町）

就農前は、休みがなく、大変そうないメージを持っていました。手をかけた分おいしい実がなるため、やりがいのある仕事です。剪定が難しく、まだまだ経験が足りないと感じていますが、梨が成長し、収穫するときはとても嬉しく、充足感でいっぱいになります。食べた人から「おいしい」と言ってもらったり、

直接訪ねてきてくれたりするような農家を目指しています。今は、アボカドの栽培にも興味があり、少しずつ勉強しているの、いつか挑戦できれば、という野望を抱いています。農業に興味がある人は、実際に梨園を見に来てほしいです。仲間が増えることを期待しています。



profile

就職について考えていたところ、父に「継ぐのであれば事業を拡大する」と声をかけられ就農。年間約40万羽を出荷している。32歳。

ブロイラー（養鶏）農家

高森啓太さん（波多津町）

就農前は、何でも自分でやらないといけないイメージを持っていましたが、法人化したことで、人に仕事をお願いする立場になりました。大変なこともあります。ひなを買ってから出荷するまでの約50日間、換気のしかたや温度管理などを試験的に変えて飼育し、良い結果が出た時は本当に嬉しいです。

生き物を飼っているの、丸一日休んだり、旅行に出かけたりはできませんが、空き時間に趣味のバイクや車を楽しんでいきます。『世界一』のブロイラーを夢に、これからは事業規模の拡大や、いつかは加工品にも挑戦したいと考えています。一度、農業という選択肢を考えてみませんか。

参加してみませんか

◆ナシ就農セミナー in 立川

梨園の見学や就農のための支援制度を紹介します。

●対象 大川町立川での梨栽培に興味がある人

●日時 9月26日（日）

午前10時～正午

●集合場所

J A伊万里直売所四季の里大川

●募集人数 10人程度

●募集期限 9月15日（水）

※先着順

●参加料 無料

◆果樹就農セミナー

果樹栽培の概要紹介や園地見学、生産者との意見交換（キウイフルーツ）を行います。

●対象

▽市または有田町で果樹栽培を考えている人（作付面積10a以上）

▽新規作付け希望の農家

●日時 10月10日（日）

午前9時～正午

●場所 伊万里総合庁舎（集合・解散）

●募集人数 10人程度

●募集期限 9月30日（木）

※先着順

●参加料 無料

◆申込・問合先（共通） 伊万里農林事務所 西松浦農業改良普及センター（☎051288）

# 職業としての『農業』

## ■就農を決意したら

就農のきっかけはそれぞれ違いますが、今回紹介した3人に共通することは、農業に対して魅力や可能性を感じ、その道を選んでいるということです。

しかし、実際に農業を始めるためには、設備投資などの費用の工面や、専門的な技術の習得など、さまざまな準備が必要で、不安なこと多いと思います。農業を始めようとする人に対し、国・県・市や農業協同組合などには、補助金をはじめ、さまざまな面でサポートする仕組みがあります。



## ～ 就農までのみちすじ ～

### Step 1 相談する

農業を始めたいと思ったら、まずは関係機関へ相談しましょう。

#### ◆主な相談窓口

- ▷ 市農業振興課農政企画係 (☎2557)
- ▷ 伊万里農林事務所 西松浦農業改良普及センター (☎5128)
- ▷ 伊万里市農業協同組合 (☎5560)

### Step 2 情報を集める

農業に関する基本的な知識を収集しましょう。農家を見て回ったり、経営者の話を聞いたりするなど、多くの人の声を聞くことも大切です。

農園での農業体験や新規就農希望者向けのセミナーなども開催されています。

#### 就農相談会

西松浦農業改良普及センターでは、毎月第3火曜日に就農相談会を開催しています。品目・農地・資金・経営計画など、気軽に相談してください。相談は予約制となっていますので、希望する人は、事前に電話してください。

今月号では、5ページ下段と、29ページでは『花栽培やってみようセミナー参加者』と『伊万里・有田農業女子交流会参加者』の募集案内を掲載しています。



### Step 3 就農計画を作る

自分の経営目標を明確にしましょう。農業といってもさまざまな品目があり、それぞれで経営のやり方が異なります。

### Step 4 農業技術を習得する

農業を営むためには、確かな技術が必要です。やりたい農業のイメージができれば、先進農家や農業法人での研修、農業大学校などで技術や経営ノウハウを身に付けましょう。

### Step 5 就農準備

農地や施設、機械の準備はもちろん、始める場所によっては、住まいの確保が必要な場合があります。

#### ◇ 就農計画7つのポイント ◇

- ① どの品目(家畜)で始めるのか
- ② どこで就農するのか
- ③ 栽培方法は(露地・ハウスなど)
- ④ 経営タイプは(単一作物・複数作物複合経営)
- ⑤ どのくらいの規模で開始するのか
- ⑥ 販売・所得目標は
- ⑦ これらを達成するために必要な技術・施設・資金は



## Pick up! 伊万里梨～梨園を守るための集落の取り組み～



伊万里梨は、市の特産品であるだけでなく、市への集客を増やしたり、PRしたりする上で欠かせないブランドです。しかし、市の農家数の減少は著しく、梨農家数についてもここ10年で約4割減少しています。また、これに伴い、梨の栽培面積や出荷数も減少が続いている状況です。

このような中、集落の園地は集落で守るという考えのもと、園地を次の世代に引き継ごうと、大川町立川と南波多町府招上地区では、『梨園・樹園地を守る会』が発足されました。

▷大川町立川地区 『伊万里梨発祥立川の梨園を守る会』

▷南波多町府招上地区 『府招上地区の樹園地を守る会』

将来残すべき園地や今後の耕作者などについて集落で検討を重ね、現在は梨に興味がある人を研修生として募集し、将来の梨園を担う人材を確保するための取り組みが実施されています。

### 梨産地強化のための支援

市の落葉果樹の主力である梨の施設園芸面積は、佐賀県が103ha（令和元年産）で全国1位となっていて、その中でも伊万里市が中心となって栽培しています。また、伊万里梨は発祥から100年以上も経つ、歴史あるフルーツです。その歴史ある産地を守るため、下記の事業に取り組んでいます。

#### ■伊万里市梨栽培研修給付金制度

梨部門での新規就農者を確保するため、市内の梨農家の指導の下で、就農に向けた研修を行う人に対して給付金を支給します。

- 給付金額 100万円/年  
(夫婦で研修を受ける場合は、夫婦で150万円)
- 給付期間  
最大24か月
- 対象者要件  
▷研修開始時の年齢が50歳未満であること
- ▷研修終了後は、伊万里市に居住し市内で梨栽培をすること
- ▷直系親族に梨を栽培している人がいないこと
- ▷年間研修時間が1,200時間を超える計画で、梨園を守る取り組みを目的とした組織により実施される研修を受けること

## 消費者として、農業のために私たちができること

伊万里の農業を守るために、消費者としては、どのようなことができるでしょうか。市内ではたくさんの農家が伊万里の農業を守っています。まずは、市内で生産された農産物を購入することから始めませんか。

### 伊万里産の梨

- ▷『幸水（こうすい）』【6月中旬～8月中旬】さわやかな甘みと、みずみずしさが特徴です。
- ▷『豊水（ほうすい）』【8月中旬～9月中旬】ほどよい酸味があり、糖度以上の甘みを感じます。
- ▷『新高（にいたか）』【9月中旬～10月中旬】繊細で上品な香りで、あまくてシャリシャリした食感が特徴です。

#### ◆おいしい梨の選び方

**かたち** 高さがあるものより、横に張りがあつてお尻がふっくらとして広いもの

**重さ** ずっしりと重く、堅い感じのもの

**色つや** 『幸水』、『豊水』などの赤梨は光沢があるもの

### 伊万里産のいちご 【11月～翌年6月】

『いちごさん』 凛と美しい色と形、華やかでやさしい甘さ、果汁のみずみずしさが特徴です。

#### ◆おいしいいちごの選び方

隅々まで赤色が濃く、果肉につやがあり、ヘタがピンと張ったもの

